

自然・文化人類学

責 任 者・コーディネーター		生物学科 三枝 聖 准教授	
担当講座・学科(分野)		生物学科、生理学講座統合生理学分野、教養教育センター	
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 28 時間 (14 コマ)
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・ねらい

大学初年次には、多様な現象、ものの見方、考え方を知ることが肝要である。人類学は人類に関する総合的な学問領域であり、「ヒト」を自然科学的な視点から考える自然人類学、ならびに「人間」の文化的・社会的側面を考える文化人類学・社会人類学を内包する。これらの各領域に関する知見が同一の科目で扱われることは少ないが、ヒト・人間を対象とする医療系学生が両者について学ぶことは意義あることと思われる。本科目では、自然人類学の諸側面および文化人類学の初歩を学ぶことによって、様々な現象についての多様な考え方に触れて、問題を多面的にとらえ、柔軟に対応できる姿勢・思考を身につける。

ヒトの特徴を、比較生物学、解剖学、遺伝学、そして自然人類学的視点から捉え、解説する講義を聞き、次いで文化人類学の初歩として、文化・社会と人間の生活、性、病気等との関連を学ぶ。これらにより、生物としての「ヒト」と、独自の文化をもつ「人間」についての理解を深め、医療人に要求される多様なものの見方を身につけることができる。ほぼ毎回の授業においてレスポンスカードを記入し、その内容がフィードバックされることなどを通して、他者の考えと自分の理解の相違点・共通点を認識し、能動的に学ぶ姿勢を養うことができる。

・学修目標

1. 自然人類学とは、どのような学問領域か説明できる。
2. 自然人類学と生物学との関係を概説できる。
3. ヒトが進化の過程で獲得した象徴的機能を列挙できる。
4. 動物のコミュニケーションがもつ一般的な意味や、その進化について説明できる。
5. コミュニケーションにおける、ヒトの言語の特性を列挙できる。
6. 人骨の特徴から人類をながめて分類するという方法を知り、その妥当性について考察できる。
7. 日本列島で発見された古人骨の特徴を概説し、日本人の小進化を考えることができる。
8. DNA 多型性とは何か説明できる。
9. Y 染色体 DNA とミトコンドリア DNA の特異性を説明できる。
10. 寿命の生物学的意義を、ヒトを再生系として捉えて説明できる。
11. 病気を、進化という視点を取り入れて考察できる。
12. 文化人類学とは、どのような学問領域か説明できる。
13. 身の回りの分類や分割と文化・社会との関わりを概説できる。
14. 性別と文化・社会との関わりを理解し、概説できる。
15. 性別分業の多様性と時代による変化を理解し、概説できる。
16. 通過儀礼とは何か、その特徴や意味を説明できる。
17. 「子ども」、「大人」、「老人」という区分と文化や社会との関わりを概説できる。
18. 「生」、「病」、「死」と文化や社会との関わりを概説できる。

19. 「病気」や「障害」のとらえ方と文化・社会との関わりを概説できる。
20. 医療と人類学の知見の関わることを知り、概説できる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応項目

C-6-7 細胞周期と細胞死

・学修事項

- (1) 自然人類学とは、どのような学問領域か
- (2) 自然人類学と生物学との関係
- (3) ヒトが進化の過程で獲得した象徴的機能や特徴
- (4) 動物のコミュニケーションの一般的な意味とその進化
- (5) コミュニケーションにおけるヒトの言語の特性
- (6) 人骨の特徴から人類をながめて分類するという方法と、その妥当性
- (7) 日本列島で発見された古人骨の特徴と、日本人の小進化
- (8) DNA 多型性とは何か
- (9) Y 染色体 DNA とミトコンドリア DNA の特異性
- (10) ヒトを再生系として捉えたときの寿命の生物学的意義
- (11) 進化という視点からみた病気
- (12) 文化人類学とは
- (13) 身の回りの分類や分割と文化・社会との関わり
- (14) 性別と文化・社会との関わり
- (15) 性別分業の多様性と時代による変化
- (16) 通過儀礼の特徴や意味
- (17) 「子ども」、「大人」、「老人」という区分と文化や社会との関わり
- (18) 「生」、「病」、「死」と文化や社会との関わり
- (19) 「病気」や「障害」のとらえ方と文化・社会との関わり
- (20) 医療と人類学的知見の関わり

・この科目を学ぶために関連の強い科目

生物系科目全般

・この科目を学んだ後につなげる科目

生物系専門科目、多職種連携科目

・講義日程

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/15	水	2	生 物 学 科	三枝 聖 准教授	人類学と生物学・イントロダクション：生物学から見たヒト・人間（「アドバンスト生物」と合同） 1. 自然人類学とは、どのような学問領域か説明できる。 2. 自然人類学と生物学との関係を概説

					できる。 3. 進化の産物としてのヒトの特徴を列挙できる。 【双方向授業】【ICT (WebClass)】 事前学修：WebClass に掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
4/22	水	2	教養教育センター	松政 正俊 非常勤講師	言語を使う人類と動物のコミュニケーション：コミュニケーションの進化と言語の特性。 1. 動物のコミュニケーションがもつ一般的な意味や、その進化について説明できる。 2. コミュニケーションにおける、ヒトの言語の特性を列挙できる。 【双方向授業】【ICT (WebClass)】 事前学修：WebClass に掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。
5/11	月	1	教養教育センター	佐藤 洋一 非常勤講師	骨から見た人類: 骨標本をもとに、人種を分けていた古典的な形態人類学を紹介するとともに、疾病が骨組織に与えた影響から、当時の文明を考察する。（岩手医科大学名誉教授・佐藤先生） 1. 人骨の特徴から人類をながめて分類するという方法を知り、その妥当性について考察できる。 【双方向授業】【ICT (WebClass)】 事前学修：WebClass に掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
5/13	水	2	統合生理学分野	中 隋 克 己 教 授	中枢神経系と筋骨格系の関わりにおいて、ヒトを他の哺乳動物から区別する特徴について学ぶ。 1. ヒトが進化の過程で獲得した象徴的機能を列挙できる。 【双方向授業】【ICT (WebClass)】

					事前学修：WebClass に掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
5/20	水	2	教養教育センター 生 物 学 科	坂上 和弘 非常勤講師 三枝 聖 准教授	日本人の小進化：身体からみた『日本人』の歴史（国立科学博物館・坂上先生）（「アドバンスト生物」と合同） 1. 日本列島で発見された古人骨の研究にもとづいた、日本人の身体的変遷に関する最新の知見にふれ、日本人の小進化を考えることができる。 【双方向授業】【ICT（WebClass）】 事前学修：日本人の成り立ちについて調べておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
5/27	水	2	教養教育センター 生 物 学 科	安達 登 非常勤講師 三枝 聖 准教授	DNA 多型からみた日本人の成立（山梨大学・安達先生）（「アドバンスト生物」と合同） 1. DNA 多型性とは何か説明できる。 2. Y 染色体 DNA とミトコンドリア DNA の特異性を説明できる。 【双方向授業】【ICT（WebClass）】 事前学修：DNA 多型および性染色体やミトコンドリアの DNA について調べておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
6/3	水	1	教養教育センター 生 物 学 科	栃内 新 非常勤講師 三枝 聖 准教授	ヒトはなぜ死ぬのか：動物にはなぜ寿命があるのか、寿命の生物学的意義、再生系としてのヒト、幹細胞、ヒトは何歳まで生きられるか（北海道大学・栃内先生）（「アドバンスト生物」と合同） 1. 寿命の生物学的意義を、ヒトを再生系として捉えて説明できる。 【双方向授業】【ICT（WebClass）】 事前学修：WebClass に掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。

					事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
6/3	水	2	教養教育センター 生 物 学 科	枋内 新 非常勤講師 三枝 聖 准教授	進化から見た病気（「アドバンスト生物」と合同）：進化と病気、免疫のはたらき、風邪はなぜ治るのか、ヒトと病原体の進化競争、抗生物質はなぜ効かなくなるのか、文明病 1. 病気を、進化という視点を取り入れて考察できる。 【双方向授業】【ICT（WebClass）】 事前学修：WebClassに掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
6/10	水	2	教養教育センター	飯塚 真弓非常勤講師 三枝 聖 准教授	科学と文化人類学～性の区分を考える：生物としての「男」と「女」、文化・社会における「男」と「女」、「男らしさ」と「女らしさ」、トランスジェンダー（盛岡大学・飯塚先生） 1. 性別と文化・社会との関わりを理解し、概説できる。 2. 性別分業の多様性と時代による変化を理解し、概説できる。 【双方向授業】【ICT（WebClass）】 事前学修：WebClassに掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
6/17	水	2	教養教育センター 生 物 学 科	飯塚 真弓非常勤講師 三枝 聖 准教授	人生と通過儀礼Ⅰ：「子ども」と「大人」の区別、「老人」とは？ 1. 通過儀礼とは何か、その特徴や意味を説明できる。 2. 「子ども」、「大人」、「老人」という区分と文化や社会との関わりを概説できる。 【双方向授業】【ICT（WebClass）】 事前学修：WebClassに掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。

					事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
6/24	水	2	教養教育センター 生 物 学 科	飯塚 真弓非常勤講師 三枝 聖 准教授	人生と通過儀礼Ⅱ：社会・文化における「死」、生者と「死後」のつながり 1. 「死」と文化や社会との関わりを概説できる。 【双方向授業】【ICT (WebClass)】 事前学修：WebClassに掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
7/1	水	2	教養教育センター 生 物 学 科	飯塚 真弓非常勤講師 三枝 聖 准教授	「生」「老」「病」「死」と文化・社会Ⅰ 1. 「生」「老」「病」「死」と文化や社会との関わりを概説できる。 【双方向授業】【ICT (WebClass)】 事前学修：WebClassに掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
7/8	水	2	教養教育センター 生 物 学 科	飯塚 真弓非常勤講師 三枝 聖 准教授	「生」「老」「病」「死」と文化・社会Ⅰ 1. 「生」「老」「病」「死」と文化や社会との関わりを概説できる。 【双方向授業】【ICT (WebClass)】 事前学修：WebClassに掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
7/15	水	2	教養教育センター 生 物 学 科	飯塚 真弓非常勤講師 三枝 聖 准教授	医療と文化・社会における「正常」と「異常」の区分：「健康」と「病気」・「障害」のとりえ方 1. 「病気」や「障害」のとりえ方と文化・社会との関わりを概説できる。 2. 医療と人類学の知見の関わることを知り、概説できる。

					【双方向授業】 【ICT (WebClass)】 事前学修：WebClass に掲載された資料をもとに、関連事項について学習しておくこと。 事後学修：授業内容を復習し、興味を持ったことについて、その他の回の内容との関連等も考えながら、さらに学習を進めること。
--	--	--	--	--	--

・ディプロマポリシーとこの科目関連

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	○
2. 地域における人々の健康に関心をもち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	○
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	△

・評価事項とその方法

総括評価：WebClass 上のレスポンスカード（論述式）への記載内容から、講義内容への理解度（90%）に加えて講義への関心・意欲・態度（10%）を評価し、総合する（自然人類学関係が 55%程度、文化人類学関係が 45%）。なお、講義への関心・意欲・態度については、主に第 1、8、14 回のレスポンスカードへの記載内容にもとづいて評価する予定である。

形成的評価：授業中の質疑応答やディスカッションにおいて積極性を養うとともに、学習項目についての理解を深める。

学修事項	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～11	2、4						55	55
12～20	1、2						45	45
合計							100	100

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	精神と自然一生活た世界の認識論 岩波文庫（青 N604-1）	グレゴリー・ベイトソン（佐藤良明 訳）	岩波書店	2022
参	精神の生態学へ（上）（中）（下）岩波文庫（青 N604-2～4）	グレゴリー・ベイトソン（佐藤良明 訳）	岩波書店	2023

参	文化人類学 [カレッジ版] (第4版)	波平恵美子編著	医学書院	2021
参	みんなが手話で話した島	ノーラ・エレングロース (佐野正信訳)	早川書房	2022
参	進化医学—人への進化が生んだ疾患	井村裕夫	羊土社	2012
参	進化から見た病気—「ダーウィン医学」のすすめ (ブルーバックス)	柄内 新	講談社	2009
参	ヒトを理解するための生物学 改訂版	八杉貞雄	裳華房	2021
参	教養基礎シリーズまるわかり! 基礎生物 改訂2版	小林秀明	南山堂	2026
推	隠喩としての病い エイズとその隠喩	スーザン・ソントグ (富山太佳夫訳)	みすず書房	2012
推	アダムの呪い	ブライアン・サイクス (大野晶子訳)	ヴィレッジブックス	2006
推	イヴの七人の娘たち	ブライアン・サイクス (大野晶子訳)	ソニー・マガジンズ	2001

・特記事項・その他

シラバスに記載されている各回の授業内容を確認し、参考書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する事前学修（予習）と事後学修（復習）の時間はそれぞれ45分および30分程度を要する。

レスポンスカードの記述内容については、必要に応じて、当該授業中ないしは関連の授業やWebClassのコースで解説等を行う。また、学生間や教員とのディスカッション等の機会を設ける場合もある。

感染症の拡大等が懸念される場合は、学外非常勤講師による講義はオンライン授業（リアルタイムでの講義配信を予定）にて実施する。また、感染拡大が深刻になった場合には、その他の講義もオンラインで実施するが、その場合もWebClass等を利用した質疑応答やディスカッションを行うなど出来るだけ双方向のやり取りを行うこととする。成績確定後、希望者には開示する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

様々な領域の専門家による講義により、多様な価値観や広い視野に立った物の味方や考え方を学ぶ。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	MacBook Pro (Apple)	1	スライド投影のため
講義	複合機一式 (Canon・Image Runner iR2230F)	1	講義・実習等の資料印刷